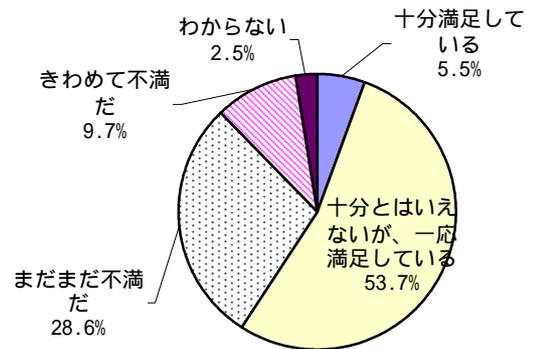


問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 十分満足している	5.5
2 十分とはいえないが、一応満足している	53.7
3 まだまだ不満だ	28.6
4 きわめて不満だ	9.7
5 わからない	2.5

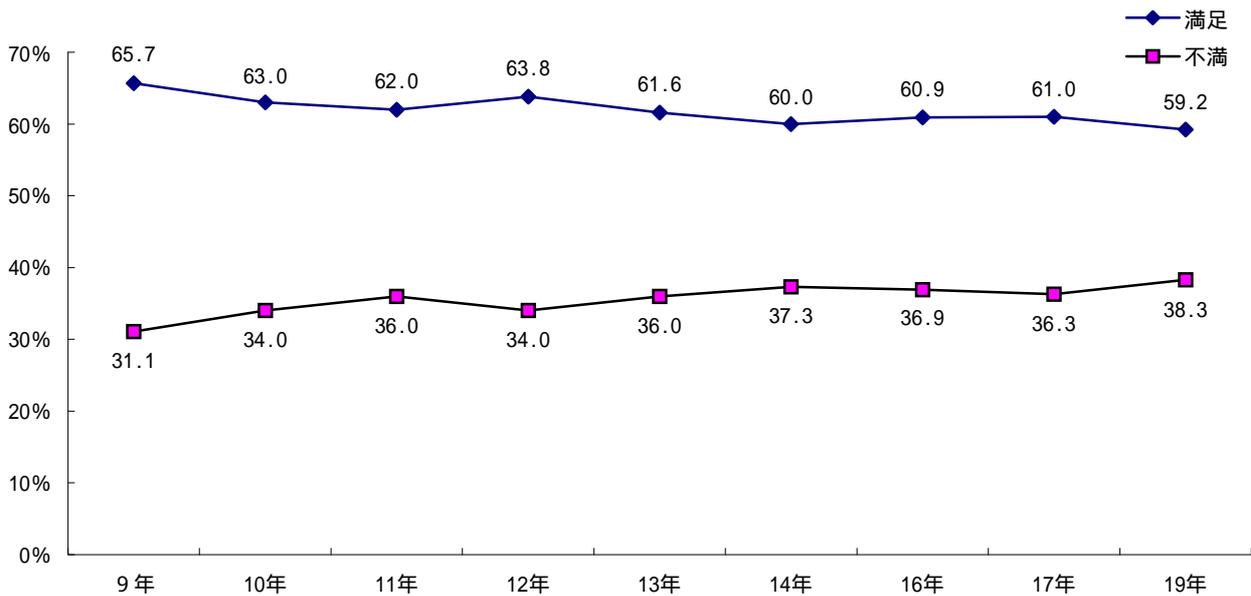
現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が59.2%（「十分満足している」（5.5%）及び「十分とはいえないが、一応満足している」（53.7%））と、「不満」と答えた人の38.3%（「まだまだ不満だ」（28.6%）及び「きわめて不満だ」（9.7%））を大きく上回っている。



(不満 38.3%) (満足 59.2%)

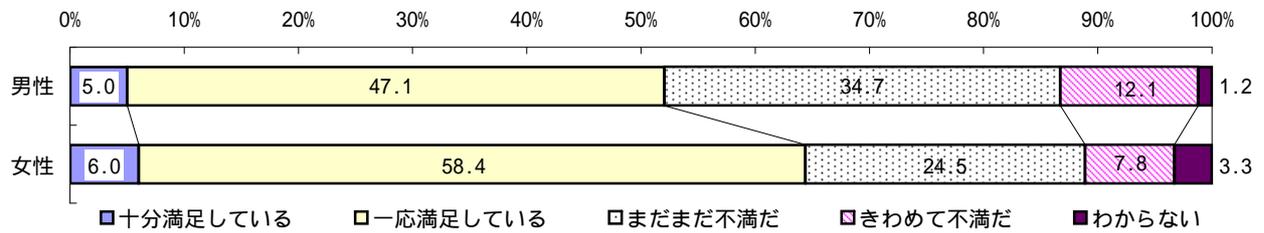
【経年変化】

経年変化を見ると、「満足」と答えた人の割合は微減傾向にあり、一方「不満」は微増傾向にある。



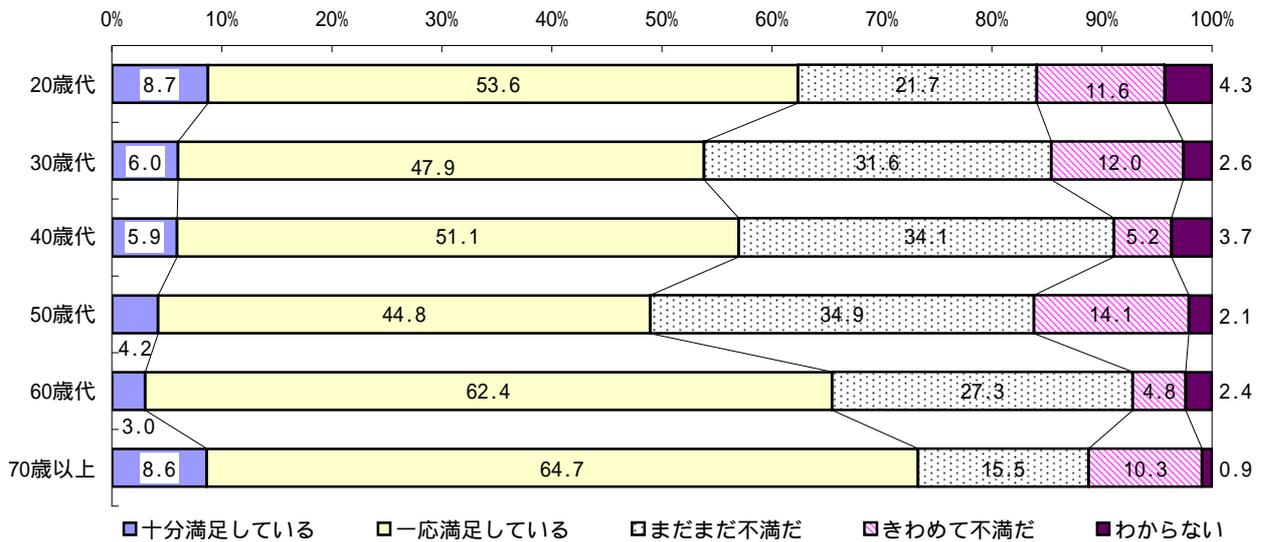
【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で52.1%、女性で64.4%と、共に過半数を超えているが、暮らしに対する満足度は、女性の方が12.3ポイント高くなっている。一方「不満」は、男性が女性より14.5ポイント高くなっている。



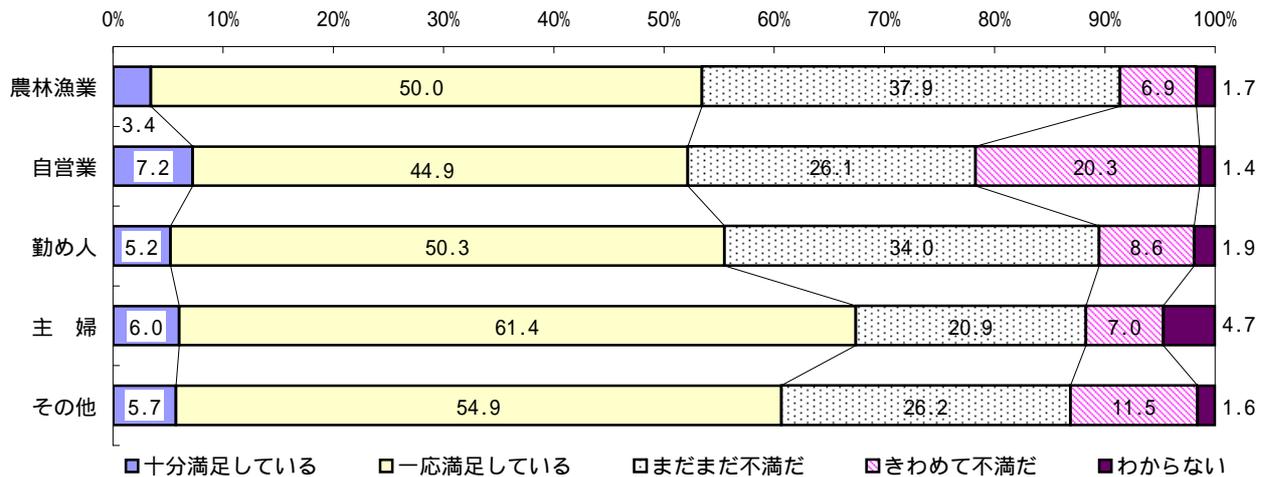
【年齢別】

年齢別にみると、「満足」と答えた人の割合は、70歳以上（73.3%）で最も高く、以下60歳代（65.4%）、20歳代（62.3%）の順となっており、一方「不満」と答えた人の割合は50歳代（49.0%）で最も多く、「満足」と同率となっている。



【職業別】

職業別にみると、全ての業種において「満足」と答えた人の割合が「不満」より多く、特に主婦（67.4%）、その他（60.6%）、勤め人（55.5%）で高くなっており、一方「不満」は自営業（46.4%）、農林漁業（44.8%）で高くなっている。

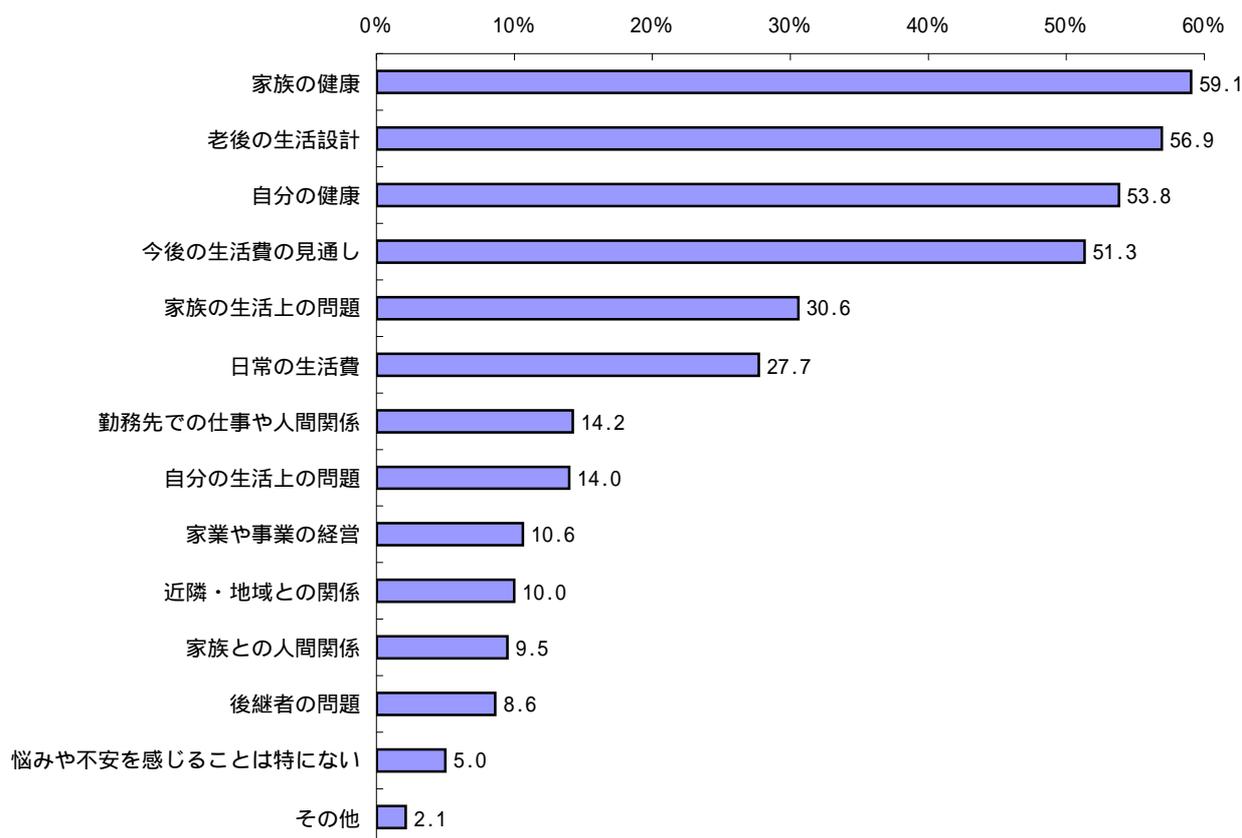


問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつでも選んで番号を で囲んでください。

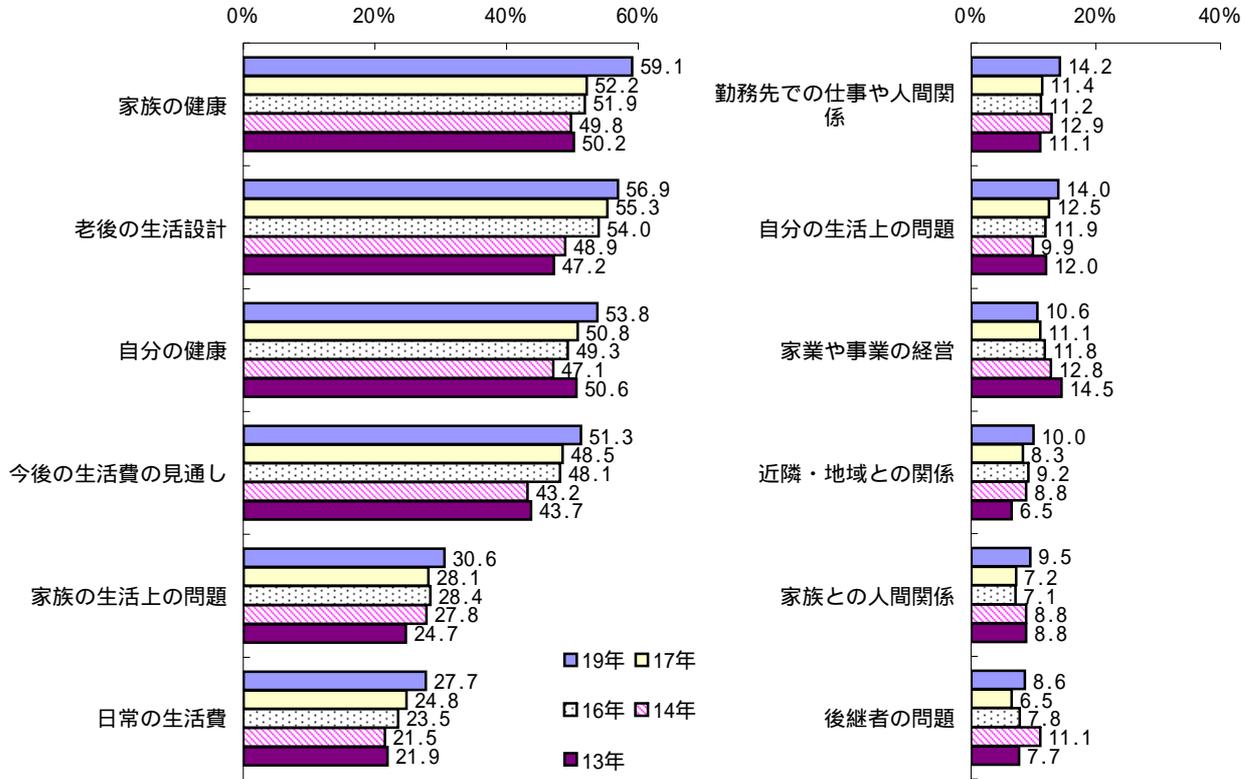
	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		53.8
2 家族の健康について		59.1
3 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		14.0
4 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		30.6
5 日常の生活費について		27.7
6 今後の生活費の見通しについて		51.3
7 後継者の問題(家業、農林漁業の将来)について		8.6
8 家業や事業の経営(農林漁業を含む)について		10.6
9 家族との人間関係について		9.5
10 近隣・地域との関係について		10.0
11 勤務先での仕事や人間関係について		14.2
12 老後の生活設計について		56.9
13 その他		2.1
14 悩みや不安を感じることは特にない		5.0

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「家族の健康について」と答えた人の割合が59.1%と最も高く、以下「老後の生活設計について」(56.9%)、「自分の健康について」(53.8%)、「今後の生活費の見通しについて」(51.3%)の順であり、健康や将来の生活に関する悩みや不安が多くなっている。なお、「悩みや不安を感じることは特にない」と答えた人の割合は5.0%であった。



【経年変化】

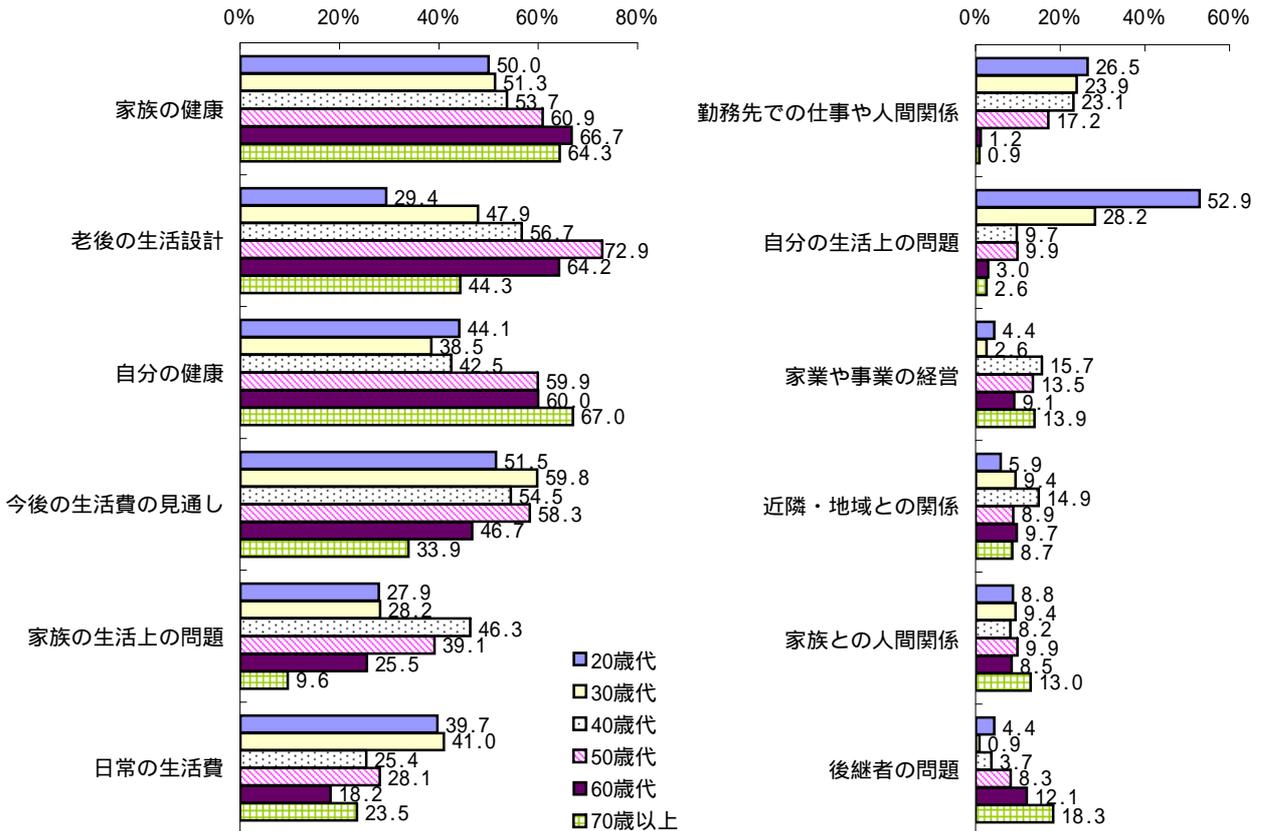
経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成13年調査以降、大きな変化は見られないが、「家族の健康」、「老後の生活設計」など、健康や将来の生活に関する悩みや不安が増加傾向にある。



【年齢別】

年齢別にみると、「家族の健康」、「自分の健康」は概ね年齢層が高いほど悩みや不安を感じる人が多くなっており、「老後の生活設計については50歳代で72.9%、「今後の生活費の見通し」は30歳代で59.8%と、それぞれ他の年齢層と比較して高く、30歳代から50歳代で、将来の生活面での悩みや不安を感じている人が多いことがうかがえる。

年齢別に悩みや不安の第1位をみると、20歳代では「自分の生活上の問題」、30歳代では「今後の生活費の見通し」、40歳代、50歳代では「老後の生活設計」、60歳代では「家族の健康」、70歳以上では「自分の健康」となっている。



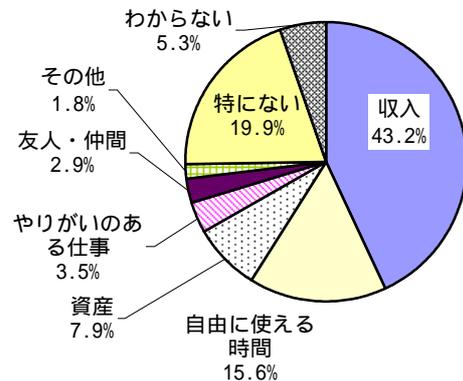
問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 自由に使える時間	15.6
2 収入	43.2
3 資産(土地、家屋、預貯金等)	7.9
4 やりがいのある仕事	3.5
5 友人・仲間	2.9
6 その他	1.8
7 特にない	19.9
8 わからない	5.3

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が43.2%と特に高く、以下「自由に使える時間」(15.6%)、「資産(土地、家屋、預貯金等)」(7.9%)などの順となっている。

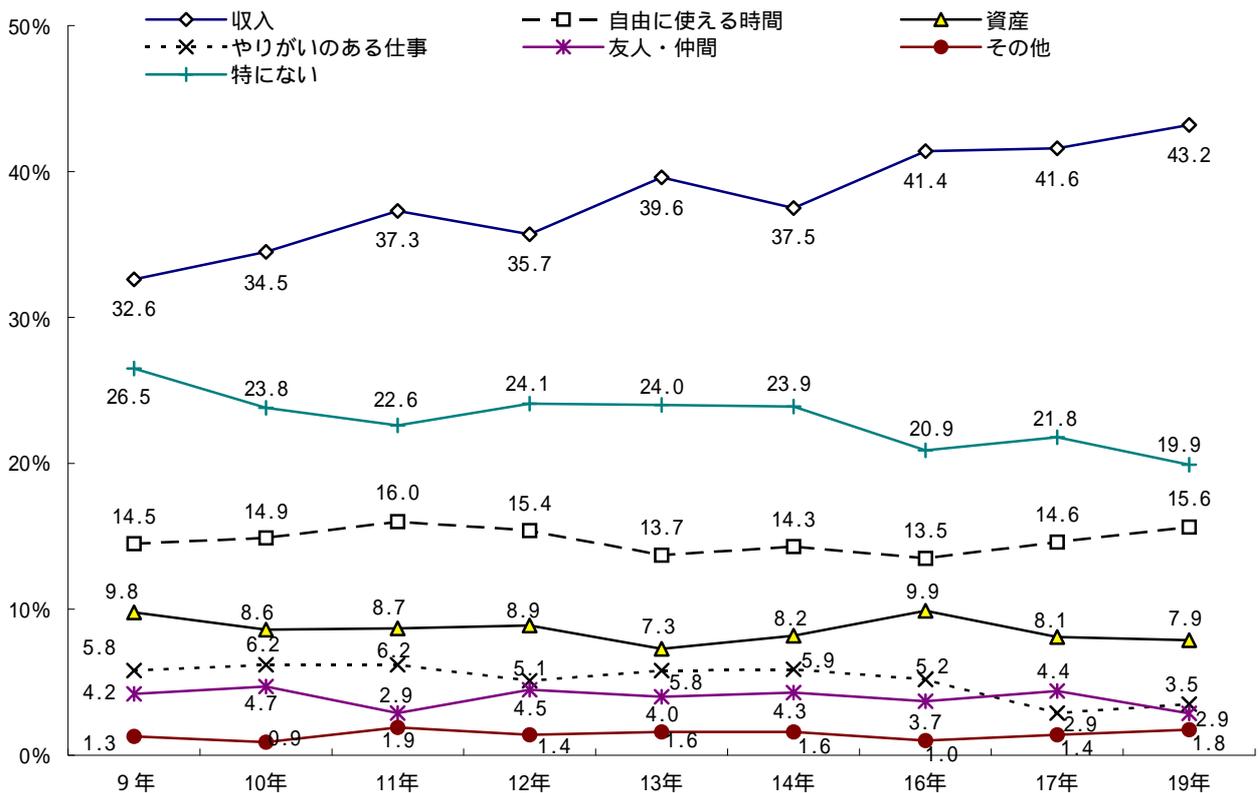
なお、19.9%の人は「特にない」と答えている。



【経年変化】

経年変化を見ると、「収入」が不足していると答えた人の割合が最も高く、また増加傾向にある。

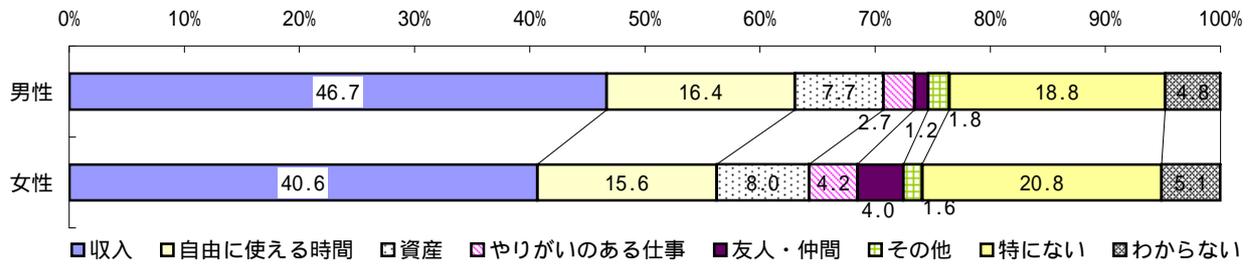
前回調査と比較すると、「収入」は1.6ポイント、「自由に使える時間」は1.0ポイント増加し、「友人・仲間」は1.5ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男性、女性ともに「収入」と答えた人の割合が最も高く、男性（46.7%）の方が女性（40.6%）より6.1ポイント高くなっている。また、「自由に使える時間」と答えた人は、男性（16.4%）の方が女性（15.6%）より0.8ポイント高くなっている。

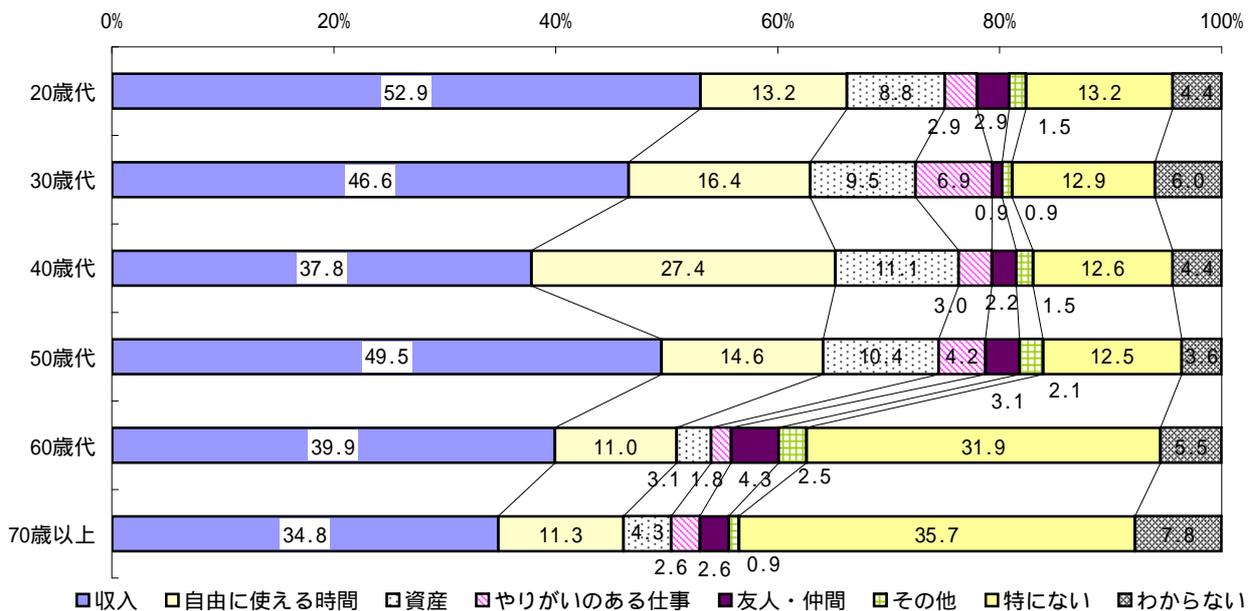
また、「友人・仲間」、「やりがいのある仕事」は、女性が男性よりそれぞれ2.8ポイント、1.5ポイント高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20～60歳代では「収入」と答えた人の割合が、70歳以上では、不足しているものは「特になし」と答えた人が最も高くなっている。一方、「収入」以外の項目について不足しているとする人の割合は低くなっている。

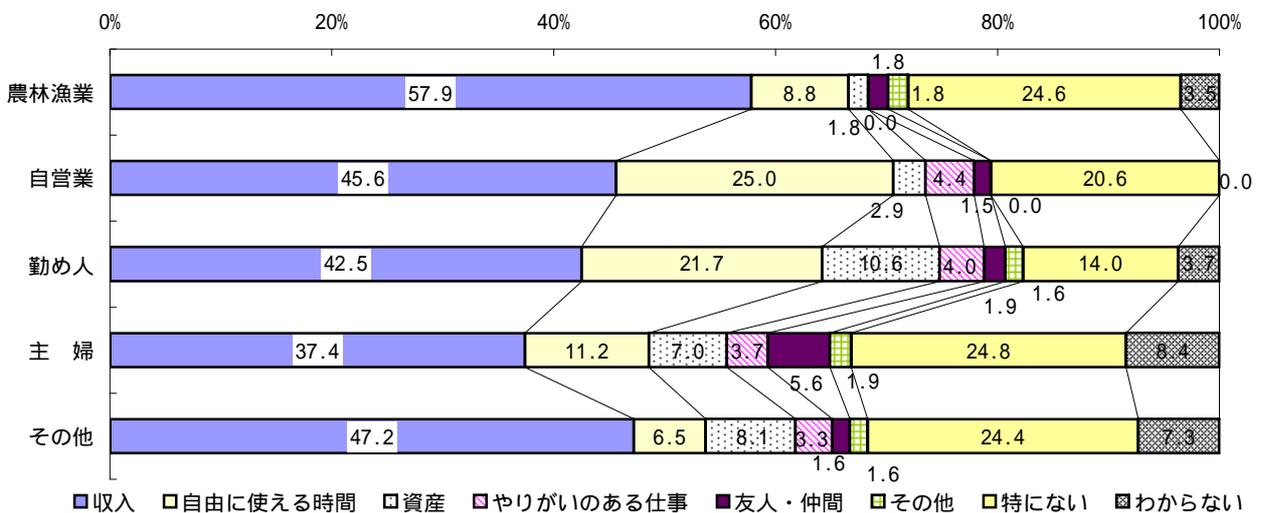
また、「自由に使える時間」は40歳代で27.4%と、他の年齢層と比較して特に高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「収入」と答えた人の割合が高く、農林漁業で57.9%と最も高くなっている。

また、「自由に使える時間」は自営業及び勤め人で、「資産」は勤め人で、「友人・仲間」は主婦で、それぞれ他の職種と比較して高くなっている。

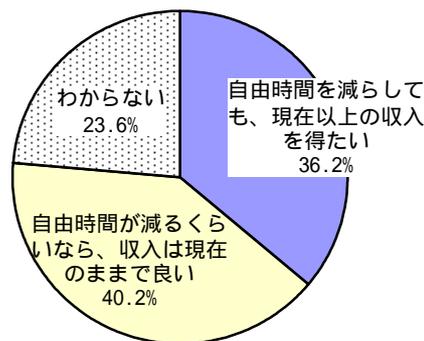


問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。あなたの考えはどちらに近いですか。次の中から一つ選んで番号をで囲んでください。

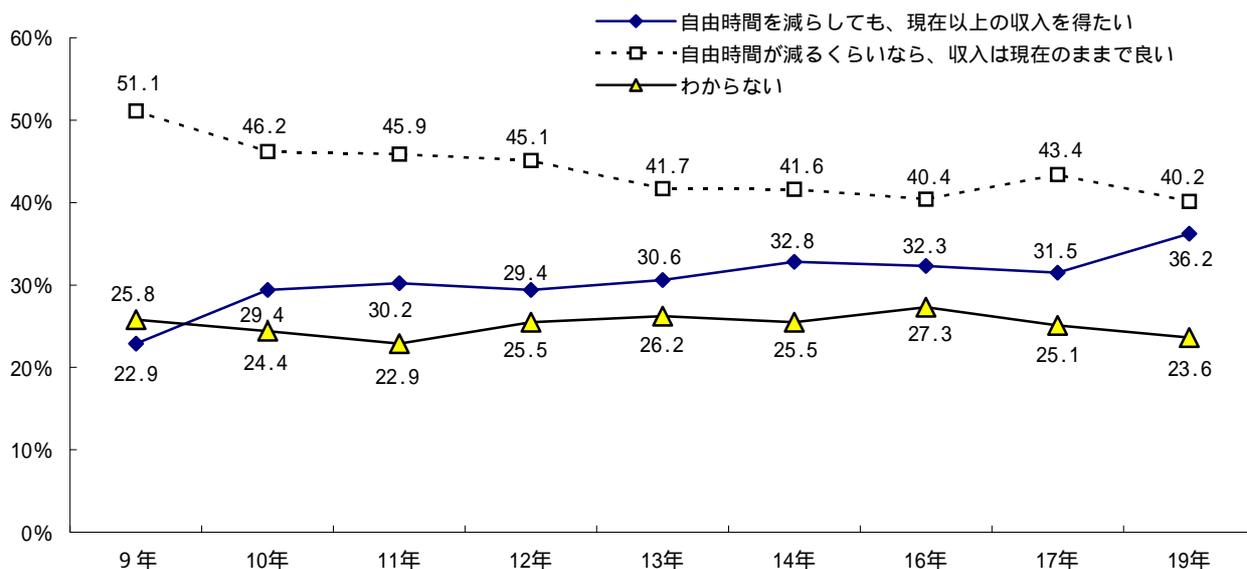
	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	36.2
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	40.2
3 わからない	23.6

自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が36.2%、一方「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が40.2%と、自由時間を重視する人の方が多くなっている。



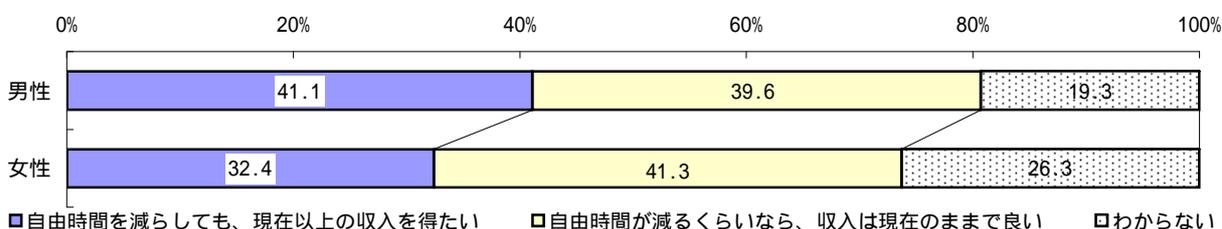
【経年変化】

経年変化をみると、引き続き自由時間への志向が強いが、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が、前回調査に比べ4.7ポイント増加し、収入に重点が移行している。なお、自由時間派と収入派の差は4.0ポイントと、前回調査に比べて7.9ポイント縮まっている。



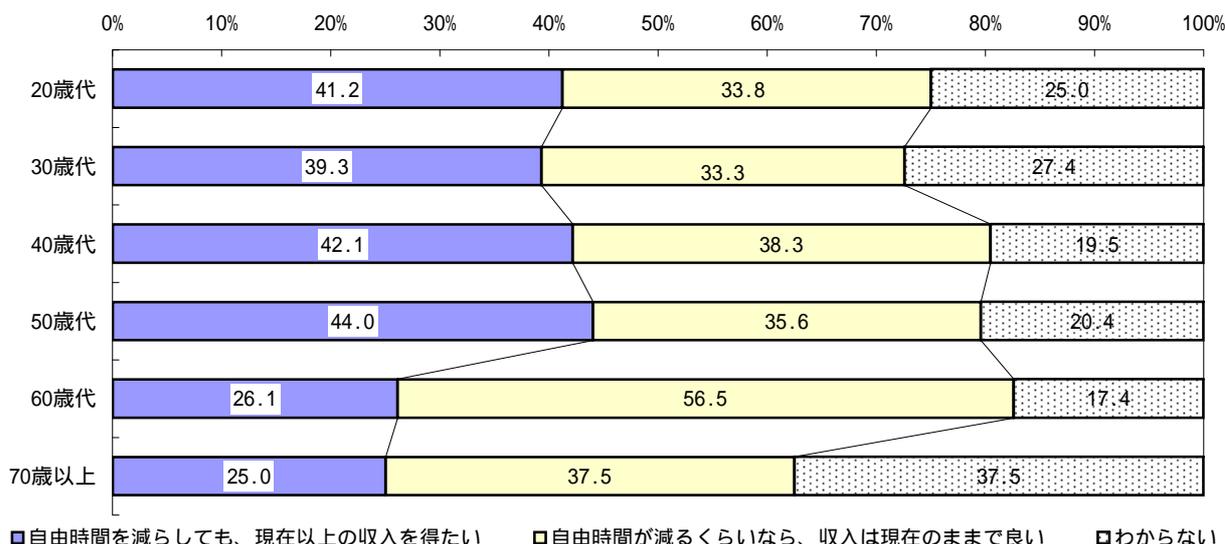
【性別】

性別にみると、男性は収入派、女性は自由時間派がそれぞれ多く、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、男性（41.1%）の方が女性（32.4%）に比べて8.7ポイント高くなっている。



【年齢別】

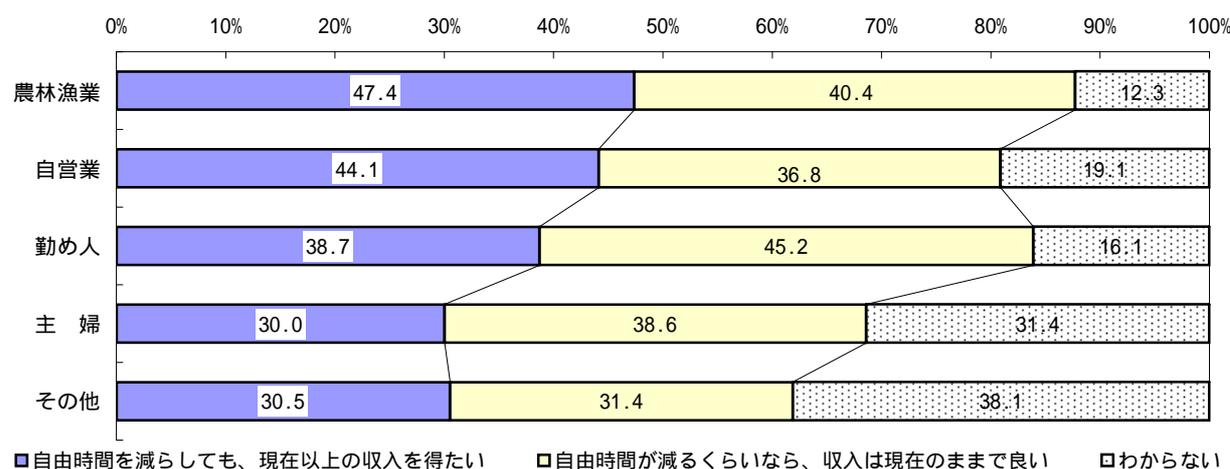
年齢別にみると、50歳代までは、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が高くなっている。また、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は60歳代で56.5%と、他の年齢層と比較して特に高くなっている。



【職業別】

職業別にみると、農林漁業及び自営業においては「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が高くなっている。

また、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合は勤め人で45.2%と、他の職種と比較して高くなっている。

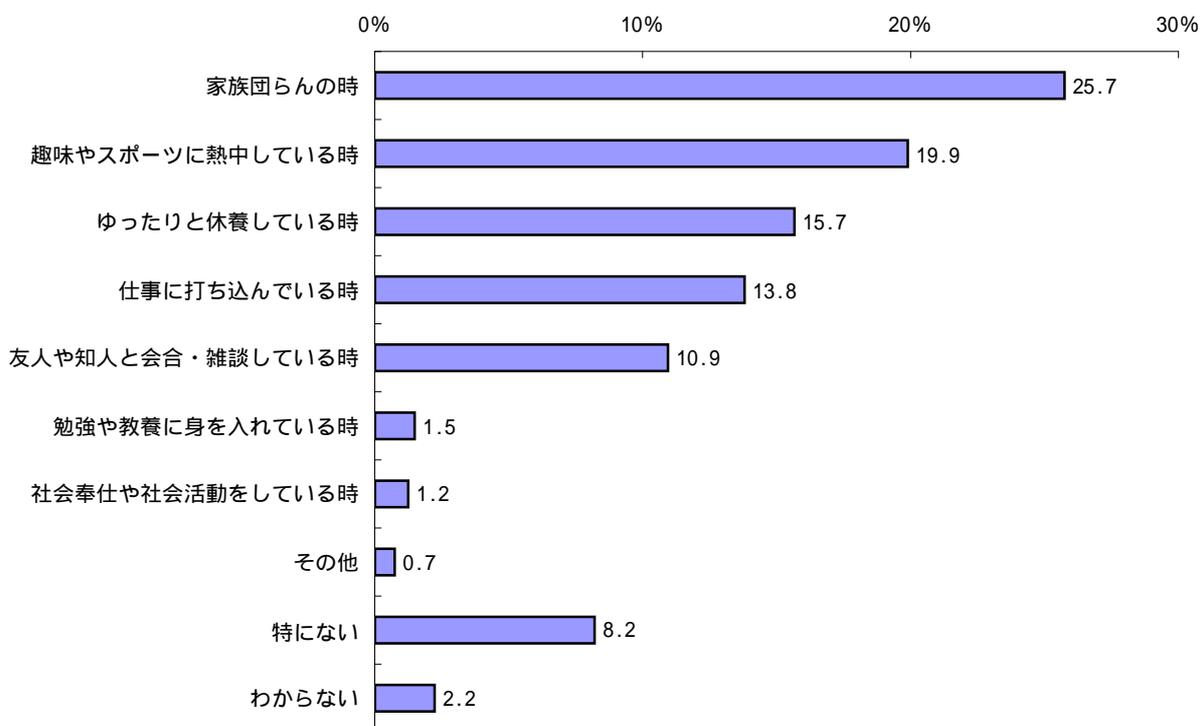


問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

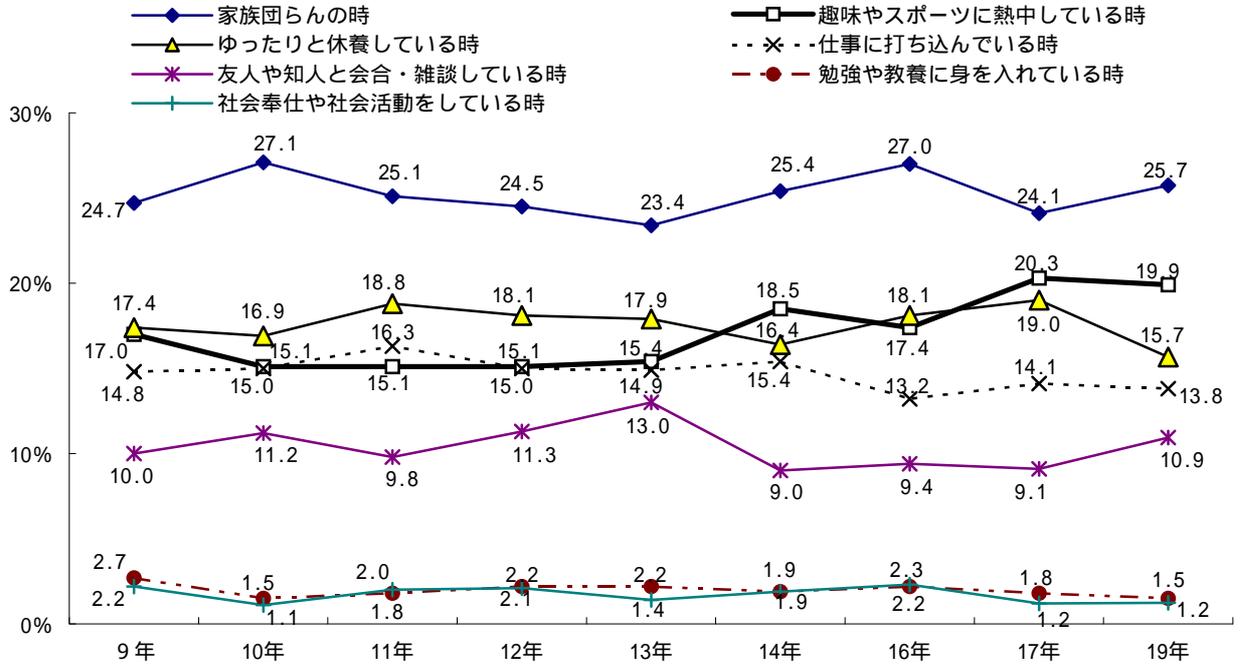
	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	13.8
2 勉強や教養に身を入れている時	1.5
3 趣味やスポーツに熱中している時	19.9
4 ゆったりと休養している時	15.7
5 家族団らんの時	25.7
6 友人や知人と会合・雑談している時	10.9
7 社会奉仕や社会活動をしている時	1.2
8 その他	0.7
9 特にない	8.2
10 わからない	2.2

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が25.7%と最も高く、以下「趣味やスポーツに熱中している時」(19.9%)、「ゆったりと休養している時」(15.7%)、「仕事に打ち込んでいる時」(13.8%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(10.9%)などの順となっている。



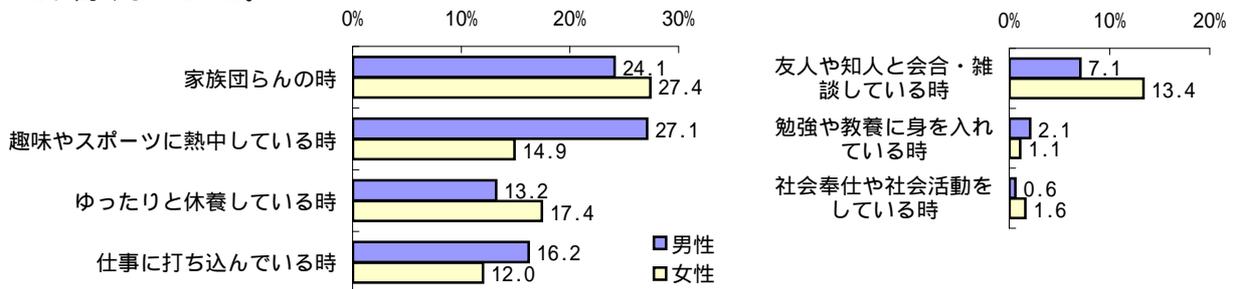
【経年変化】

経年変化をみると、「家族団らんの時」と答えた人の割合が25%前後で最も多くなっている。
 また、前回調査と比較すると、「友人や知人と会合・雑談している時」は1.8ポイント、「家族団らんの時」は1.6ポイント増加し、「ゆったりと休養している時」は3.3ポイント減少している。



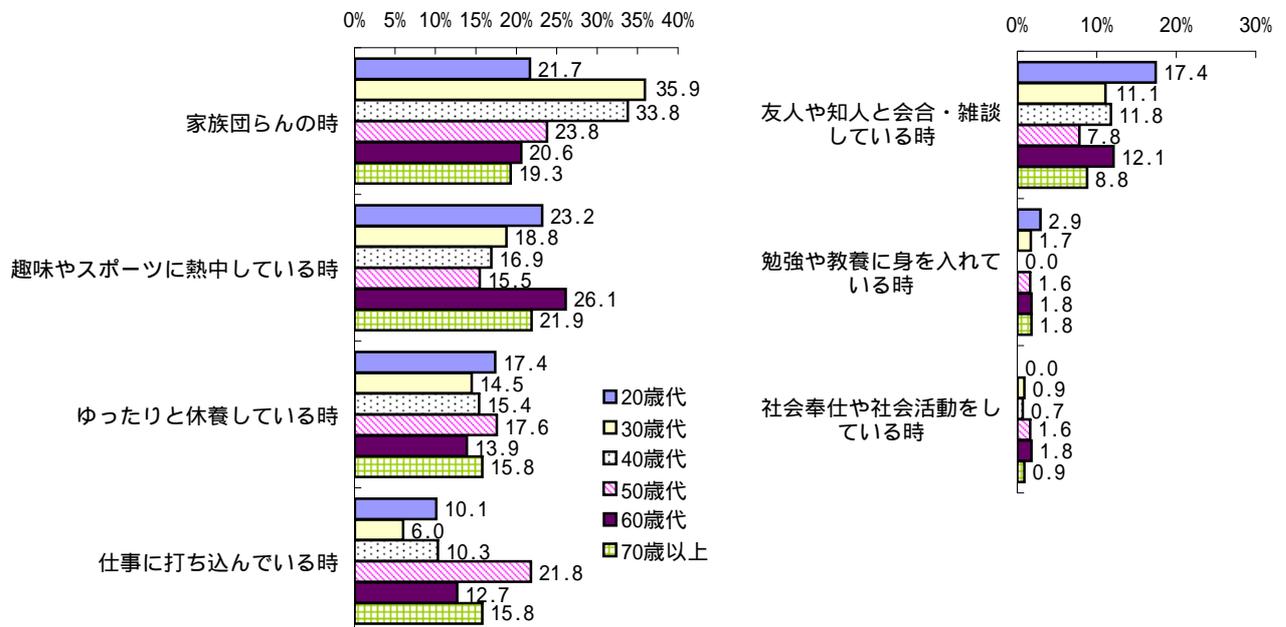
【性別】

性別にみると、「趣味やスポーツに熱中している時」や「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合は男性で、「家族団らんの時」、「ゆったりと休養している時」、「友人や知人と会合・雑談している時」は女性でそれぞれ高くなっている。



【年齢別】

年齢別に見ると、20歳代、60歳以上では「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合が、30歳から50歳代までは「家族団らんの時」が最も多くなっている。
 また、「仕事に打ち込んでいる時」は50歳代で、「友人や知人と会合・雑談している時」は20歳代で、それぞれ他の年齢層と比較して多くなっている。



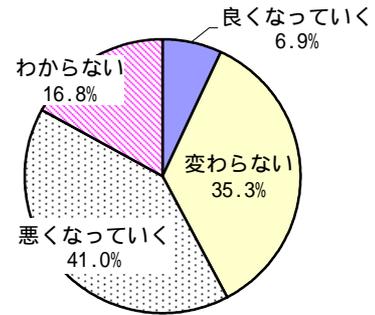
問11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

1	良くなっていく	6.9
2	変わらない	35.3
3	悪くなっていく	41.0
4	わからない	16.8

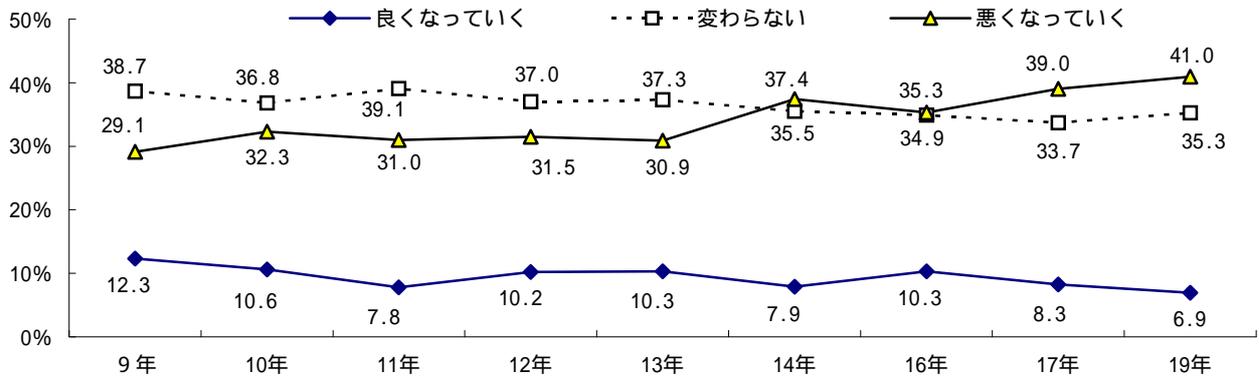
暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が41.0%と最も高く、「変わらない」と答えた人の割合は35.3%、「良くなっていく」と答えた人の割合は6.9%であった。



【経年変化】

経年変化をみると、「良くなっていく」は減少傾向、「悪くなっていく」は増加傾向にある。

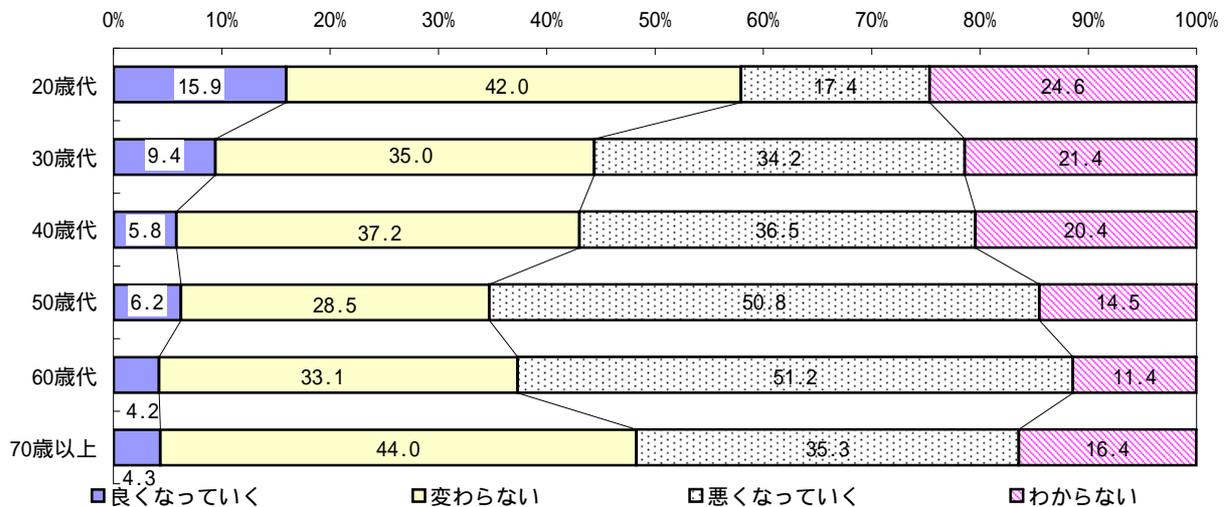
また、前回調査と比較すると、「悪くなっていく」と答えた人の割合は2.0ポイント増加し、「良くなっていく」は1.4ポイント減少している。なお、「悪くなっていく」は、初めて40%を超えた。



【年齢別】

年齢別にみると、「良くなっていく」と答えた人の割合は概ね年齢層が低いほど高く、20歳代では15.9%と特に高い。一方「悪くなっていく」と答えた人の割合は50～60歳代で過半数を超えている。

また、「変わらない」と答えた人の割合は70歳以上で最も高くなっている。



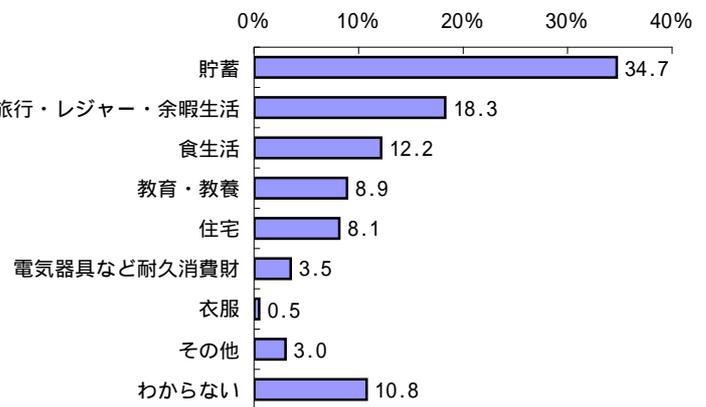
問12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしてどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 食生活	12.2
2 衣服	0.5
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	3.5
4 住宅	8.1
5 貯蓄	34.7
6 教育・教養	8.9
7 旅行・レジャー・余暇生活	18.3
8 その他	3.0
9 わからない	10.8

(「7」は今回調査から『旅行』を加えて「7 旅行・レジャー・余暇生活」とした。)

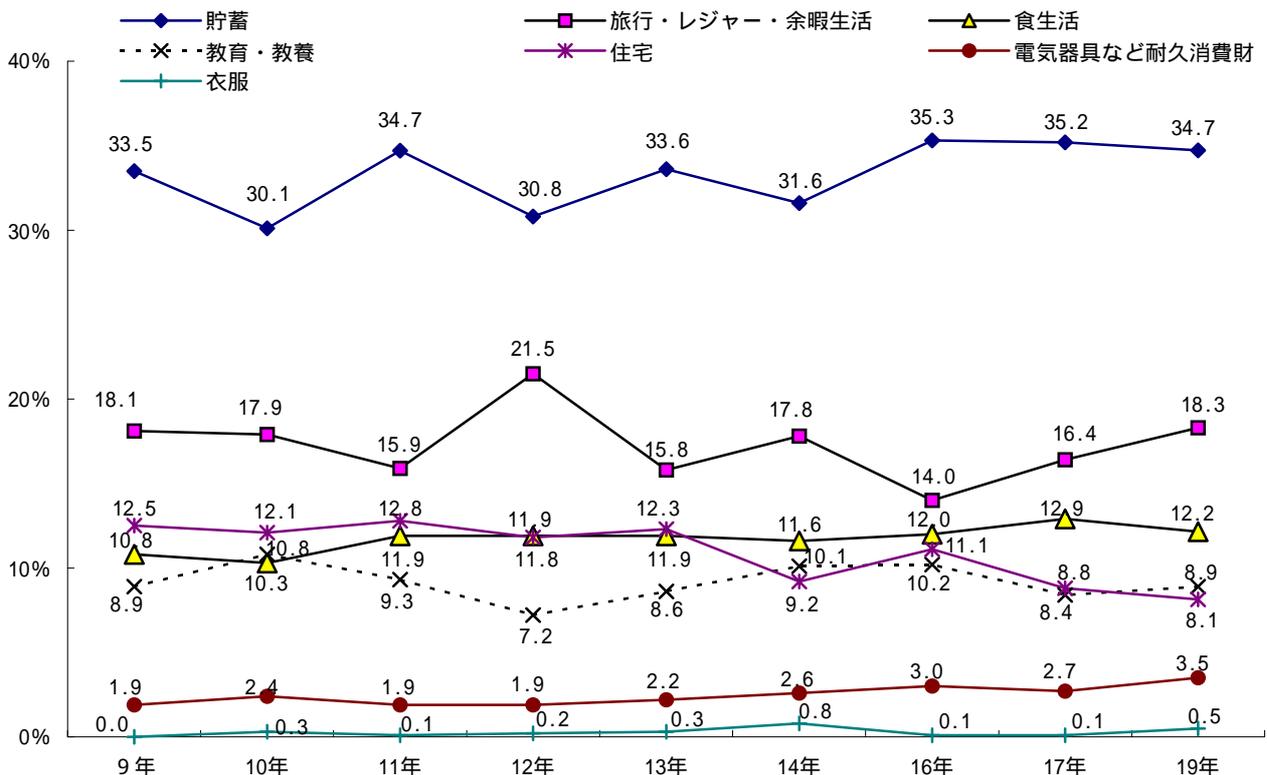
今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が34.7%と最も高く、以下「旅行・レジャー・余暇生活」(18.3%)、「食生活」(12.2%)、「教育・教養」(8.9%)、「住宅」(8.1%)などの順となっている。



【経年変化】

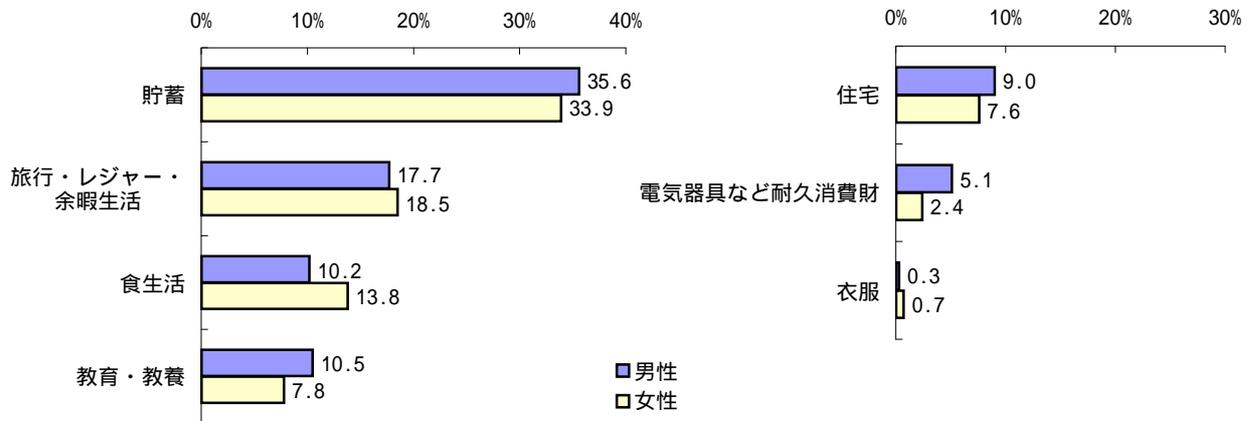
経年変化をみると、力を入れたい項目は、依然「貯蓄」と答えた人の割合が高く、次いで「旅行・レジャー・余暇生活」が多くなっている。

前回調査と比較すると、「旅行・レジャー・余暇生活」に力を入れたいと答えた人の割合が1.9ポイント増加したほか、「教育・教養」が0.5ポイント増加し、「住宅」(0.7ポイント減)と順位が入れ替わった。



【性別】

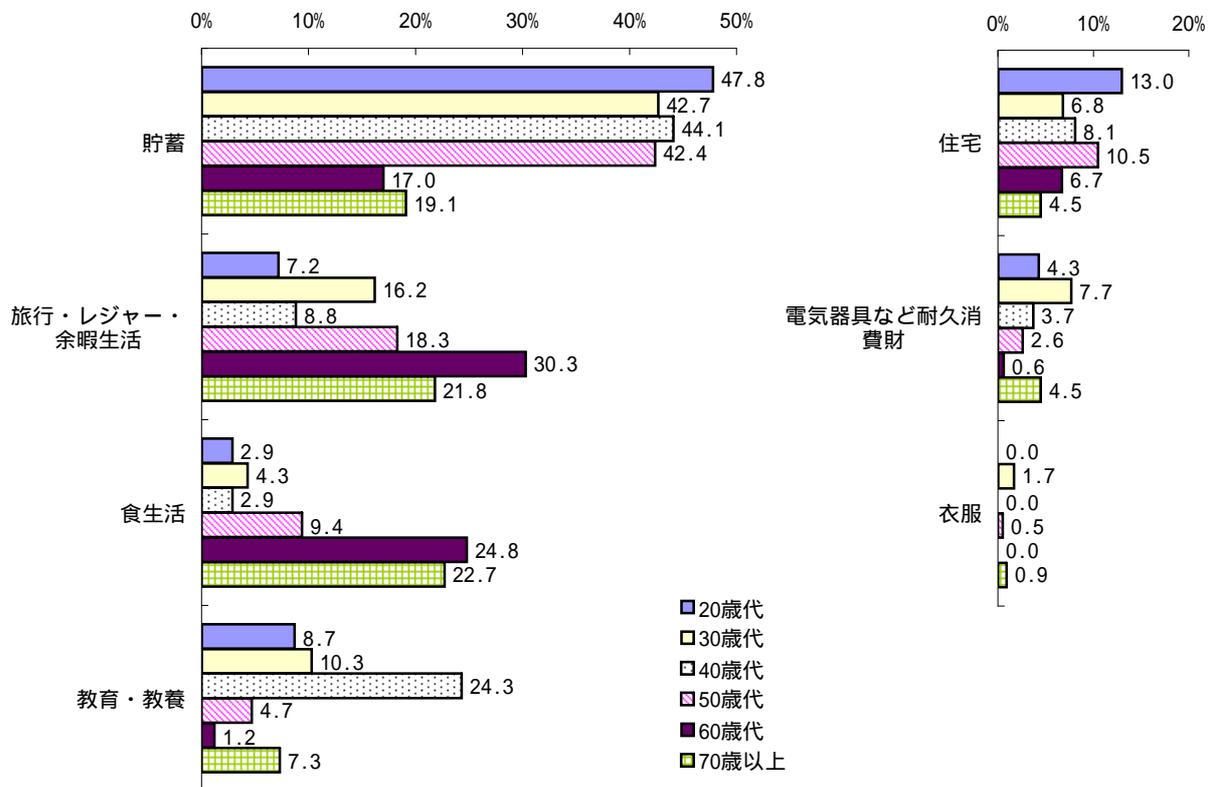
性別にみると、男性、女性ともに「貯蓄」と答えた人の割合が最も高くなっている。
 また、「旅行・レジャー・余暇生活」、「食生活」などでは女性の割合が高く、「教育・教養」、「電気器具など耐久消費財」などでは男性の割合が高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳～50歳代では「貯蓄」と答えた人の割合が最も高く、その割合は20歳代（47.8%）で最も高くなっている。

また、「旅行・レジャー・余暇生活」及び「食生活」は60歳代で、「教育・教養」は40歳代で、「住宅」は20歳代で、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい | 24.6 |
| 2 | まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい | 22.3 |
| 3 | 一概にはいえない | 43.7 |
| 4 | わからない | 9.4 |

では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 196) (%)

- | | | |
|---|-------------------|------|
| 1 | 精神修養・自己研さんに努める | 4.1 |
| 2 | 趣味や習い事に生きがいを見つける | 13.3 |
| 3 | 健康を大切にする | 42.9 |
| 4 | 家族・友人とのふれあいを大切にする | 26.5 |
| 5 | 社会奉仕など社会のためにつくす | 5.1 |
| 6 | 自然とのふれあいを大切にする | 7.1 |
| 7 | その他 | 0.5 |
| 8 | わからない | 0.5 |

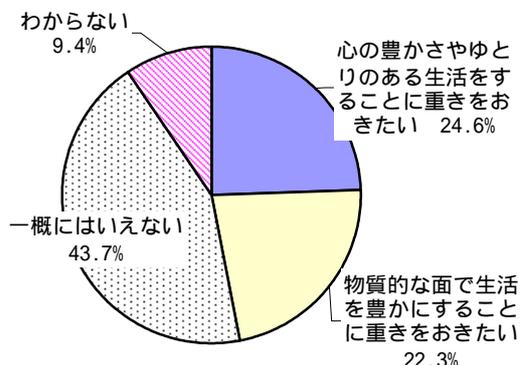
では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 170) (%)

- | | | |
|---|---------------------------------------|------|
| 1 | おいしいものをたびたび食べる | 7.6 |
| 2 | 耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし | 24.7 |
| 3 | 広くて設備の整った家に住む | 24.1 |
| 4 | 趣味・娯楽に関する良いものを購入する | 20.6 |
| 5 | 衣服や身の回りのおしゃれができる | 7.1 |
| 6 | その他 | 6.5 |
| 7 | わからない | 9.4 |

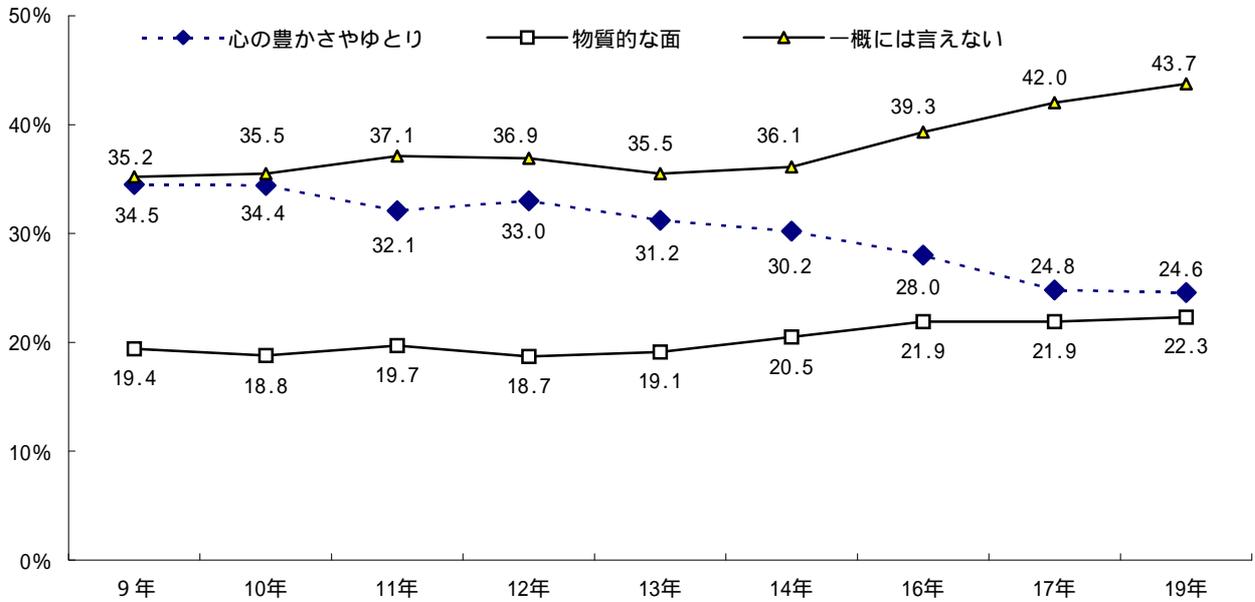
今後の暮らし方として、心の豊かさか、物の豊かさか、どちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が24.6%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（以下「物質的な面」という。）と答えた人の22.3%を上回っている。

また、「一概にはいえない」と答えた人の割合は43.7%であった。



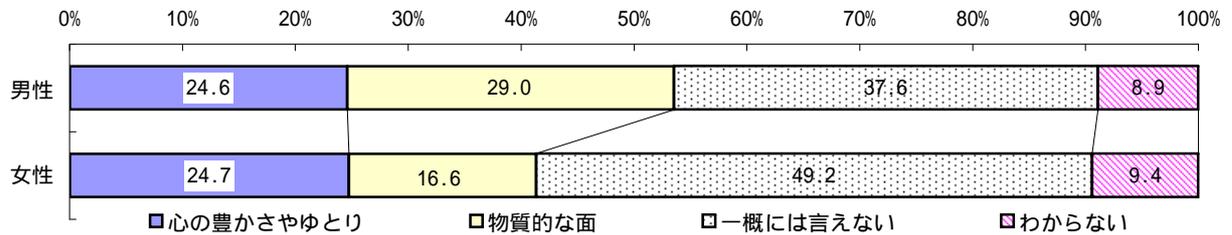
【経年変化】

経年変化をみると、「一概にはいえない」が最も多く、「心の豊かさやゆとり」は減少傾向に、「一概にはいえない」と「物質的な面」は増加傾向にある。



【性別】

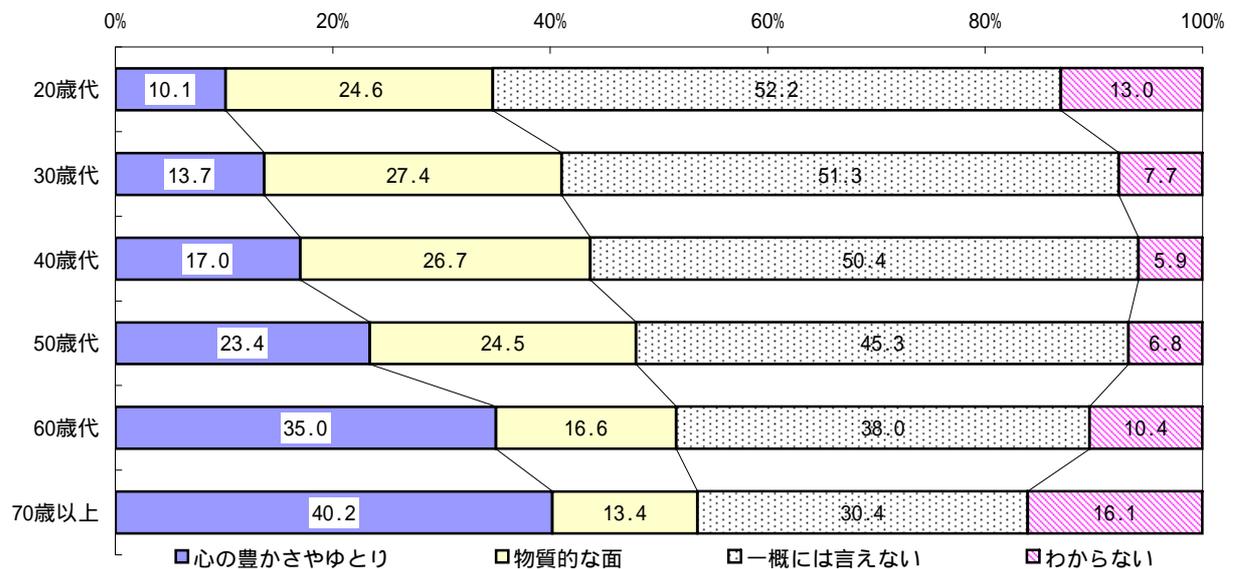
性別にみると、男性・女性とも「一概にはいえない」と答えた人の割合が最も多くなっている（男性37.6%、女性49.2%）。また、「心の豊かさやゆとり」は男性24.6%、女性24.7%でほぼ同率となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と回答した人の割合は年齢層が高いほど高くなっており、70歳以上では40.2%と最も多くなっている。一方、「物質的な面」は30～40歳代で、「一概にはいえない」は20～30歳代で高くなっている。

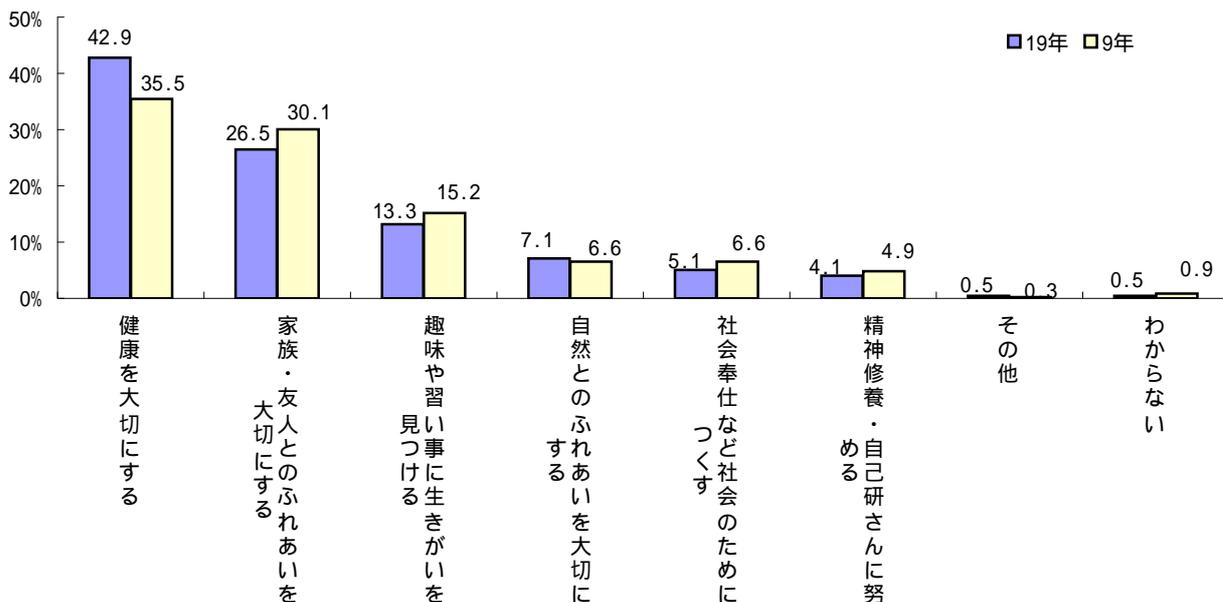
また、50歳代以下では「物質的な面」と答えた人の割合が「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合を上回っている。



《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」(42.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族・友人とのふれあいを大切に」(26.5%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(13.3%)などの順となっている。

また、10年前の平成9年の調査(以下「9年調査」という。)と比べると、「健康を大切にする」は7.4ポイント、「自然とのふれあいを大切に」は0.5ポイント増加し、「家族・友人とのふれあいを大切に」は3.6ポイント、「趣味や習い事に生きがいを見つける」は1.9ポイント減少している。



《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」と答えた人の割合が24.7%と最も高く、以下「広くて設備の整った家に住む」(24.1%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(20.6%)などの順となっている。

また、9年調査と比べると、「おいしいものをたびたび食べる」と答えた人の割合は5.6ポイント、「耐久消費財のそろった快適な暮らし」は4.3ポイント、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」は3.3ポイント増加し、「広くて設備の整った家に住む」は20.3ポイントと大幅に減少している。

